

（件名）上海北海道経済交流室長の交代について**（1）赴任について**

本年6月の人事異動に伴い、北海道庁の上海駐在員となりました廣瀬（ひろせ）と申します。かつての中国は、海外からの入国者に対する隔離措置など、新型コロナウイルス感染症の影響が残っていたため、不安を抱えながらの赴任準備となりました。赴任時には隔離措置なども廃止され、コロナ関連の制約はほぼありませんでした。一方で、入国に必要なビザ申請手続が非常に混み合っており、直前までビザ取得の目途が立たない日々が続きましたが、日中関係者のご協力のもと、5月30日にビザを取得、6月5日、東京を経由して上海へ渡航しました。なお、ビザ発給条件などは、随時変化しておりますので、今後の渡航を予定されている皆様には、最新情報の把握・早めご準備をお勧めします。

（2）赴任後の中国に対する印象

現在の中国はコロナ禍を経て、ICTの進歩や衛生面での意識改革、防犯強化など、日本人にとって以前よりも馴染みやすい社会になっています。特にICTの進歩はめざましく、買物はもちろん、飲食店における注文、公共交通機関の乗降、タクシーの手配等が全てスマートフォンのアプリで完結します。コロナ禍での急な環境変化の中で、全国民が新しい生活スタイルにこんなにも早く移行できたことに、中国（中国人）の適応力の高さを感じます。また、1年前に上海で行われたロックダウンについて、経験された皆さんは、遠い目をしながら、時には楽しそうに当時のご苦勞を口にされます。そして、日本人・中国人を問わず、「我々はその試練をみんなで乗り越えた！！」という強い自負と連帯感に溢れており、この意識が今後、プラスに働くことを心から願ってやみません。

（件名）今後の取組方向について**（1）観光情報の発信について**

日中間の往来には多くの制約が残っていますが、中国における日本への旅行ニーズは非常に高い状況にあります。日本への団体旅行が解禁されていない状況にも関わらず、観光ビザの発給数は2023年5月の1ヶ月間だけで10万件を超えています。（個人観光ビザは2023年3月から解禁、前月比187%）今後、ますます増加する中国の観光客に向けて、北海道経済交流室では、SNSのウェイボー（※）の公式アカウントを活用し、北海道観光の最新情報を日常的に発信していきます。また、日中の往来拡大に向けた関連情報の収集に努めます。



最初の観光PRは瀋陽での日本フェア

（※）「北海道_北国魅力」（フォロワー数23.8万人） https://www.weibo.com/hokkaidochina?is_all=1

（2）道産品の販路拡大について

中国ではコロナ禍の在宅生活を経て、通販や出前などのオンラインでの消費習慣が定着しています。こうした消費習慣の変化をチャンスと捉え、ECサイトの活用なども行いながら、道の事業やメーカー、貿易、流通業の皆様と連携して、道産品を中国の消費者に届ける機会の拡大に注力します。

（3）その他（ネットワーク構築、道内への情報発信等）

その他、前任者までの歴代駐在員が構築してきた中国地方政府をはじめとする関係機関とのネットワークの維持拡大、中国情報の道内への発信等を積極的に行ってまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。